

【既定】	妊産婦等健康診査	予算額	385,543 千円
【既定】	乳幼児健康診査等	予算額	186,895 千円
【既定】	産前・産後支援	予算額	21,916 千円
【既定】	多胎児家庭支援事業	予算額	16,607 千円

事業の目的・概要

すべての子育て家庭に対して、妊娠初期から保健師等の専門職がきめ細やかな面接、相談等の支援を行うことにより、出産や子育てに関する不安を軽減するとともに、乳幼児が健やかに成長できるよう、妊娠から子育て期の切れ目のない支援を実施します。

【妊娠・出産・乳幼児期の主な支援事業】

時期	妊娠～出産期		乳児期		幼児期
	妊娠	出産	6 か月	1 歳以降	
ゆりかご事業	ゆりかご面接 ゆりかごプラン作成 子育て応援券(ゆりかご券)交付	ゆりかごプランを基にした相談支援			
		産婦健康診査	離乳食講習会		
	妊婦・妊婦歯科健康診査	新生児聴覚検査	個別栄養指導、乳幼児歯科相談		
	出産育児準備教室 (母親学級・パパママ学級)	すこやか赤ちゃん訪問	乳幼児健康診査、乳幼児歯科健康診査 (4 か月児、6・9 か月児、1 歳 6 か月児、3 歳児)		
産後ケア事業 (宿泊型・日帰り型)		あそびのグループ事業			
その他の支援事業	育児応援券事業				
	産前・産後支援ヘルパー事業				
	多胎児家庭支援事業				
	ショートステイ、ファミリーサポートセンター				
	訪問育児サポーター事業				
ひととき保育 / 一時保育、一時預かり					

主な取組内容

- **多胎妊娠の妊婦健康診査費用助成の実施** **拡充**

多胎妊婦は、単胎妊婦よりも頻回の妊婦健康診査の受診が推奨され、受診に伴う経済的負担が大きいことから、都内一律で実施している 14 回の健診を超えて受診した場合に 5 回を上限として費用の助成を行うことにより、多胎妊婦の負担軽減を図ります。
- **3 歳児健康診査の視覚検査における屈折検査機器 (SVS) の導入** **新規**

弱視は、早期発見することで治療が可能です。視機能が急速に発達する時期に実施する 3 歳児健康診査の視覚検査に屈折検査機器 (SVS) を導入することにより、弱視の主な原因となる屈折異常や斜視を早期発見し、適切な支援につなげていきます。
- **産前・産後支援ヘルパー事業、多胎児家庭家事・育児支援ヘルパー事業の充実** **拡充**

産前・産後の家事や育児の支援を希望する家庭の様々な家庭状況やニーズに対応できるよう、保護者等の在宅要件や対応できる育児内容など、利用条件やサービスの見直しを行い、支援の充実を図ります。